



TITLE:

摘録

AUTHOR(S):

CITATION:

摘録. 地球 1927, 7(2): 165-167

ISSUE DATE:

1927-02-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/183223>

RIGHT:

摘 錄

○今井登志喜 大都市と郊外町 都市問題第三卷第六號

一〇七六一〇八二頁、大正十五年十二月

郊外町とは英語の Suburb 佛語の Faubourg 獨語の Vorstadt である。本來西洋の都市は昔一般に其周圍に外廓を廻らして居つて、外廓外の周圍を Suburb 等と呼んで、廓内の都市とは行政上のみならず地理上にも明確な區別があつた。それで、都市とは外廓を有つ場所であるを定義された程である。近代になつて都市が發展するにつれて外廓外に延長し、所謂郊外町が出現した。都市の外廓は軍事的必要の爲めに造られたのであるが、現代では全く無意義のものとなつた。同時に、それが種々都市生活の妨害になるので、現代の大都市の多くでは外廓を撤廢して、その跡を輪狀道路(獨逸の Ringstrasse)又は遊歩道路(佛蘭西の Boulevard)等として仕舞つた。その結果最早都市は外廓を有つ居住地なりとの定義は成立たず、郊外町と都市との間の地理的限界はなくなつた。従つて今日では郊外町は都市と只行政的に區劃される接續町村の意味となつた。

都市が著しく發達する時は常に郊外町が出現するのは歴史上の原則である。羅馬は屢々その外廓を改造して廓内を擴張したが、都市は愈々 Suburbium に延びて行つた。十六世紀以降西歐各國の首府がその國家生活の中核として遂に他の都

市を凌駕して急激な發達をなすに至つてから、それ等の首府は何れも著しく外廓外に延長して、郊外町が次第に出現した。各國政府は初め、市政、食料品供給、給水、防火、防護の立場から首府の異常な膨脹を危險視して、極力都市の郊外延長を防遏せんとした。佛蘭西では一五四九年以來一六七二年まで數回巴里の膨脹を阻止する法律を出し、英吉利でもエリザベス朝からチャールス一世時代に亘つて、倫敦の郊外町の發達を禁止した。然し各政府の努力は郊外町發達の大勢に對して全く無効であつた。巴里が幾度も舊外廓を撤廢して郊外町を編入しては新外廓を造つて行つた事實は、巴里の地圖上の幾つかのブルバールによつて迫ることが出来る。伯林の發達はその國家的發展が佛より遅れた關係上、十七世紀の中頃から始まるが、こゝでは寧ろ政府の力によつて計畫的に組織的に郊外町が造られた。今日伯林生活の中心であるフリードリヒ區、ドロテア區等は、他の歐洲の大都市の中心區と異つて全く幾何學的な街路を形造つて居るが、之等はこの時代に中世のベルリンの西方に設計された郊外町であつたのである。

十九世紀に入つて急速な都市發達時代が現はれ、郊外町の發展は從來の様に首都にのみ止まらなくて、近代生活を營む諸國に隨所に見る顯著な現象になつた。こゝに郊外町即ち接續町村の編入が到る處に行はれた。都市の膨脹が舊來の都市の四方に同心圓的に等分に行はれる場合もなくはないが、多くは或る方面にのみ向つて特に膨脹するのが普通である。面

白い事は西歐の大都市は概して西方に向つて殊に著しく郊外町が出来た傾向がある。例へば倫敦はテムスの上流と北西ハローとの方角に、巴里はセーヌの下流に、ベルリンは西方シヤロツテンブルグ、ウ非ルメルスドルフから南西ボツツダムの方向に特に膨脹して居る。之を我が東京について見るに都市計畫區域中で、延び方の最も少いのは北東の南足立郡で東方南葛飾郡之に次ぎ、膨脹の最も著しいのは矢張り西方特に豊多摩郡の方向である。同郡は現に十三の町のみより成り立つて居る。かゝる現象は地形、交通機關、産業、其他の理由から起る事であるが、西歐の都市が西方に延びる理由の一として、歐洲では一般に西風が多く、従つて西方は都會の汚塵を免れて比較的清爽な空氣を有つ快適な住宅地を提供して居ることが擧げられて居る。

大都市問題の中で郊外町が重視されればならぬ點は數多いが、こゝにはやゝもすれば郊外町の取扱ひが適當でない一二の場合を指摘するに止めやう。

第一は都市の大小を論ずる場合である。例へば巴里は一九二一年に二、九〇六、四七二人の人口を有つて大倫敦、大紐育、大伯林に次いで世界第四の都市となる。然し之は伯林が一九二〇年に隣接の七市八十七ゲマインデを編入して、總人口三、八〇四、〇〇〇人（一九二〇年）と計算されるに至つたからである。大伯林の面積は約八七八平方軒であるのに巴里は約七八平方軒で大伯林の十分一に及ばない。之をしも同列に比較するのは不合理である。巴里の直接の隣接町村のみ

でも人口約三五〇萬に達する。従て行政上の區劃だけの數字で巴里を以て伯林より小なりとすることは出来ない譯であるこの點は現今東京と大阪との比較の上に起つて居る事であるが、これ程の大都市でない場合にも郊外町が閑却される爲めに、その都市の實際の人口上の大きさが誤まられて居る例が屢々である。例へばリヴァプールでは川向ふのパークンヘッド等、マンチエスターでは隣接のサルフォード等を加へれば、共に人口百萬の都市となり、グラスゴウは其隣接町村を加へれば百三十萬に達し、ハンブルグはアルトナ等を加へれば百二十萬に近い人口となる。されば之等の都市は數字に現はれる所よりも實際には二十萬乃至三十萬大きく、従てかう云ふ大きい郊外町を有たぬケルン、ミュンヘン、ドレスデン等とは區別して比較されなければならない。

第二には大都市と中都市小都市との發達を比較する場合である。普通都市の發達を比較するにはそれぞれの都市に於ける百分率で現はした人口増加率を比較して論ずるのであるが此の際郊外町に注意を拂はぬ時は、結論は無意義なものとなる。其の一例として東京をさる。東京市は大正十三年末の人口は一、九二六、三一〇人である。然るに東京都市計畫區域内八十四ヶ町村の總人口は一、九八七、一八二人で、内の其を凌駕して居る。此區域と大差ない明治十一年の東京市米引外の人口は市内の八一三、四〇〇人に對して二七〇、六二五人であつたのであるから、郊外の人口の増加は到底市内の比ではない。東京市の眞の膨脹は全く此の郊外町を合せ考へて

初めて了解される。大 市と中小 市との發達を比較する際
獨立の意義なき郊外町 各自獨立 中小都市とするときは其
の結論は全然意味をなさないのである。現今東京市の隣接町村
には、人口十萬以上の町村一、五萬―十萬十四、二萬―五萬
十九、一萬―二萬十、合計四十四箇町村に達して居る。之等
を除く東京市近縣に於て十萬以上の都市は東京、横濱、横須
賀の三、五萬―十萬は僅に宇都宮、前橋の二つ、二萬―五萬
の市は水戸、八王子、桐生、高崎、足利、千葉、川崎、川越
の八つあるに過ぎぬ。之を東京市郊外の二萬以上、三十四箇
町村に比較すれば頗る微々たるものである。これが關東に於
ける中小都市の實際の姿である。英國でも大都市の郊外町は
統計の際中小都市に加へられて居る。されば統計に基いて種
々の問題を數字的に論ずる時には、郊外町なるもの、價值を
認めて、取扱ひ上之に對する用意がなければならぬ。(N)

○久原幹雄

磁鐵礦及赤鐵礦の熱水沈澱に關する

實驗 (Experiments on the hydrothermal precipitation
of magnetite and hematite. Japanese Journal of Geolo
gy and Geography, Vol. IV, No. 1-2, pp. 1-32, 1925(1
926) 實驗の一例一方解石粉を第二鹽化鐵の溶液に投じ空氣の
酸化作用を防ぐために炭酸瓦斯を通じつゝ、數時間煮沸すると
第二酸化鐵が漸次増加し尙連續煮沸するときは此第二酸化鐵
は鐵溶液と化合して遂に赤鐵礦を沈澱する。此際溶液に FeCl_3 を混する時は Fe_2O_3 (赤鐵礦) を生じ、それが Fe_2O_3 (赤鐵礦) に緻密に混して其結果赤鐵礦は磁性を示すやうになる。

摘録、新著紹介

この様な實驗を FeCl_3 , FeCl_2 , FeSO_4 , $\text{Fe}(\text{SO}_4)_2$ 等の溶
液と $\text{Fe}(\text{OH})_3$, 方解石、菱鐵礦、 FeSiO_3 , $\text{Fe}(\text{Si}_2\text{O}_7)_2$, 綠
泥石、變朽安山岩、黑雲母、Jehersite 硅灰鐵礦、鐵橄欖石、
蛇紋岩、綠泥石、黃鐵礦等の沈澱劑とについて行つた結果が
一々について詳しく記述してある、これに依つて菱鐵礦、方
解石、綠泥石等が存する時は攝氏百度に於て鹽化鐵又は硫酸
鐵溶液より酸素の助けなしに磁鐵礦を沈澱する事を知り得
た由來赤鐵礦は氣成作用又は他の鐵礦の酸化によりて生成し
水溶液より沈澱せらるゝ事は皆無のやうに考へられてゐたが
大森嶺山等の赤鐵礦はその產出狀態を見るに水生成因のもの
と思はれる。今この實驗の結果に依て考へるに、大森嶺山の
赤鐵礦は菱鐵礦及變朽安山岩(即方解石及綠泥石の混合物)を
沈澱劑として攝氏百度で空氣のないところで第二硫酸鐵又は
第二鹽化鐵溫泉から沈澱したものだらう。(渡邊)

新著紹介

○出雲國風土記考證

後藤藏四郎著 四六版本文索引

共三九五頁はしがき一三頁、東京大岡田書店、大正十五年
十一月發行

我國最古の地誌として出雲風土記の右に出るものはない。
出雲、常陸、播磨、豐後及肥前の各風土記には皆夫々特色が

一六

七三